

Faculty of Global Communications

JAPANESE COURSE



言語、文化、価値観、
あらゆる壁を越えて
対話する力を。

3
つ
の
柱

1 日本社会に通用する コミュニケーション力養成

日本社会で働く時に大切なものは「コミュニケーション力」。このスキルを養うために、理論的・実践的な学びを組み合わせた充実のカリキュラムを展開しています。

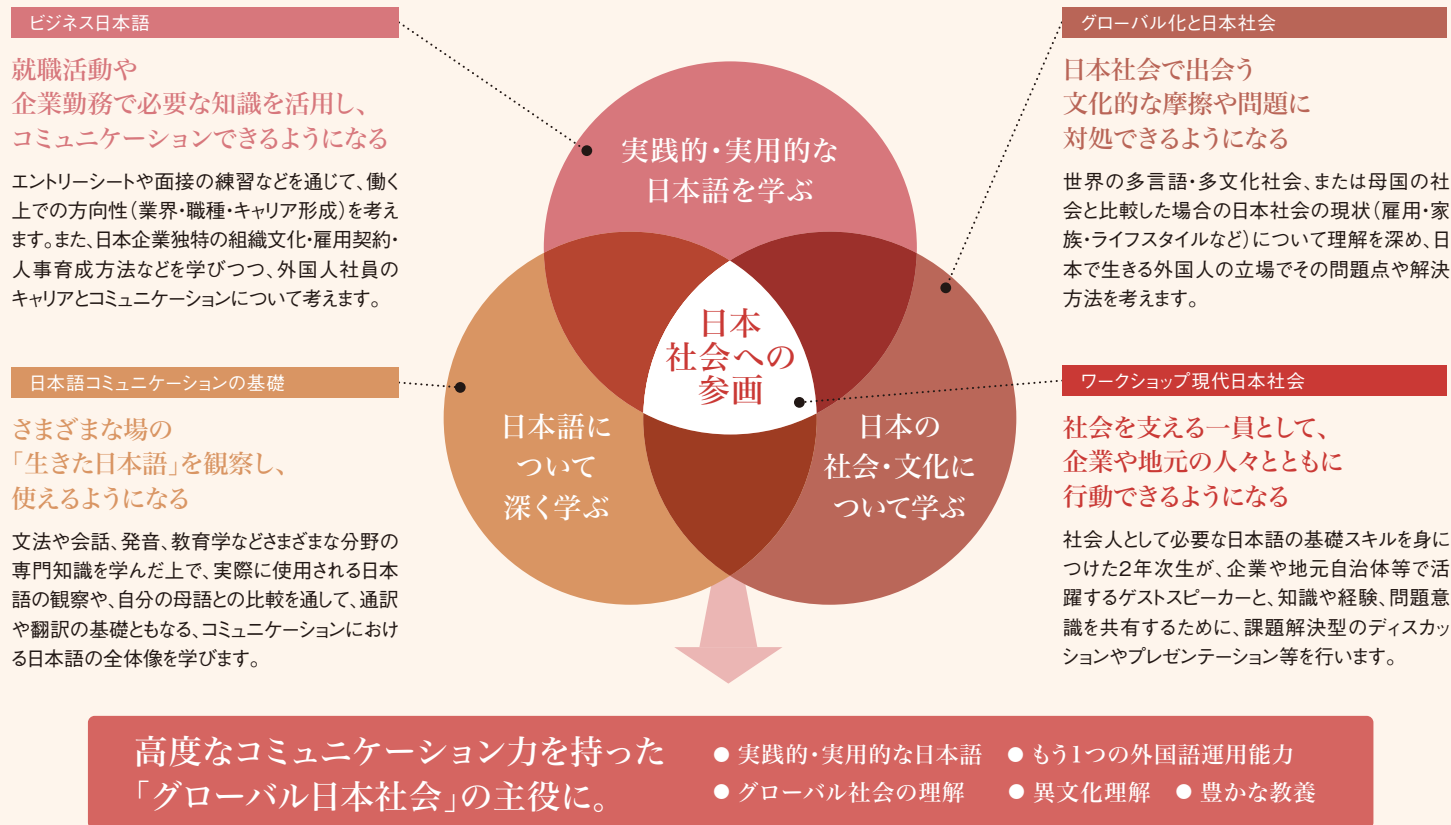
2 少人数クラスによる きめ細かな指導

1クラス10~20名程度と、少人数制の指導が特長。学生と教員の距離が近く、大学の勉強から将来の進路まで、きめ細かな指導が受けられます。

3 国内学生と留学生が ともに学ぶ

英語コース・中国語コースの学生(国内学生)とともに学ぶ科目を数多く用意。また、国内学生とパートナーになり、互いに言語を教えあう制度も実施されています。

日本の「ことば」「文化」、そして「社会」まで深く学べるカリキュラム



NEW

タンデム・パートナー制度の本格運用がスタートします。

学生同士でお互いに得意な言語を教えあう「タンデム・パートナー制度」の本格運用が2017年度よりスタート。日本語コースの学生は英語コース・中国語コース所属の国内学生とパートナーになります。語学レベルの向上はもちろん、学部内での交流拡大も目的とした制度です。



在学生に聞いてみました (中国出身・日本語コース4年次生)

Q グローバル・コミュニケーション学部日本語コースに入学した理由は?

A 日本には幼い頃から興味があり、小学校を卒業してからずっと日本語を勉強してきました。日本をもっと知りたいと思い、高校卒業をきっかけに、日本について深く学べるこのコースに入学することを決めました。

Q 現在、力を入れて取り組んでいることは?

A 国内学生と一緒に進めているSeminar Projectです。「京都の文化発信」というテーマで、どうすれば観光客や地元の方に京都の魅力を伝えられるかを考えています。また、これまではクローバー祭(学園祭)などの課外活動にも積極的に参加してきました。

就職データ (2017年3月日本語コース卒業生)

◆ 日本国内就職率(国内就職希望者のうち)

100%

全国平均53.2%

※日本学生支援機構
「平成27年度私費外国人留学生生活実態調査概要」
「平成27年度外国人留学生進路状況調査」をもとに推計

◆ 主な就職先

ローソン/ビックカメラ/大塚家具/日本新薬/
日テレ アックスオン/P&Gプレステージ合同会社 など

◆ 卒業生の声

日本社会で生きていくための力が身についた。

「日本語を日本社会で学びたい」と思い、この学部を選びました。学部の授業は発表や実習など実践的なものが多く、日本語コミュニケーション力が大いに磨かれたと思います。特に、社会で使える「ビジネス日本語」の授業は就職活動にも役立ち、憧れだったホテルへの就職を実現できました。現在はフロントスタッフとして勤務中。日本と韓国、2カ国語のスキルを活かして「私だからこそできる接客」を追求しています。



2016年 日本語コース卒業
株式会社近鉄・都ホテルズ 新・都ホテル
金 雲喬さん

